

# 入學前の幼児について

及 川 ふ み

昭和七年を迎へて又新鮮な氣持で幼児たちを遊ばれる事は何ぞいふうれしい事ぞう。

歳末の終業式の日には倉橋先生が幼児たちに「お正月は皆さんに來るばかりでなく東京からずつ北の青森や北海道の饑饉のころの子供にも來ますよ。それから又遠く滿州の野でお國のために働いてゐて下さる兵隊さんたちにも來ますよ。」とお話下さいました。

この時に小さい幼児たちにも東北、北海道のお氣の毒な凶作の事も亦滿洲の地で皇國の將士が活動してゐて下さる事も深く感ぜられてゐたものを見て異口同音に「知つてゐます、知つてゐます」を連發しました。この様子を見ても大きい組の幼児はこゝさらにその感を強うしてゐる様に見受けられました。日頃の自由遊びにも滿洲事變勃發後は男兒には戦争ごつこが多くなり長い積木を肩にして園庭を駆けまわり大將の命令一下お庭にはひねて鐵砲をうつ。こんなこゝが幾日も幾日もくりかへされるある日な

ご例の戦争ごつこに子供心にもその日は少しは興奮してゐたものを見て敵方になつてゐた一人に始めは積木の砲さをむけてほんほんこやつてゐたのに尙あきたりなかつたのか急に一人が大急ぎにはしりよつて積木でなくりつけた。又一人又一人、一寸の間に包圍攻撃をうけて敵兵は一たまりもなく大泣きに泣き出した。大急ぎでぶたれた所を冷して別にこゝも出來ずすんだのであります。

敵になるのは始めから誰しも好まないものであります。戦争ごつこにしては合ひがないので仕方なしになつてやつたのにこの始末で、このひきい目にあつた幼児は勿論その他の幼児も戦争ごつこの敵兵になるのはいやだ泣き出して誰もなり手がなないし私の方でも誠に危険の至りでこの頃は敵は遠くにありこいふこゝろで鐵砲を遠くへうつて接戦だけは嚴禁しました。平素の兵隊ごつこには見られない一場景でありました。

又或日なご新聞紙が廣告の紙かでメガホンをつくり「あ

はれな同胞のためにおたすけ下さい」云幼稚園の廊下をねり歩いてゐる事もありません。こんな風でしたので終業式の日なき主事先生からお話が、出たときにはほんまに我が意を得たり顔に、知つてゐます知つてゐます、で大賑になつたのでありませう。

滿洲事變や、東北北海道の大凶作の事柄は國をあげての大きな出来事で新聞や、ラヂオ、街頭のメガホンの聲によつて小さい人の脳裡の中にも深くしみこんでゐる事と思はれます。

年長組の幼児たちは後二三ヶ月のうちにはそれ／＼小學校へ送らなければなりません。東京の様に數多い小學校の中でも父兄の方々が入學させたいと考へる小學校にはそれ／＼むづかしい入學試験の難關があります。これは單に東京のみならず少し大きい都會は皆大同小異の事と思はれます。一人の幼児が數校の門をくぐつてやつこおちつく學校が定るものも少くはないのであります。

幼稚園は小學校の準備のためのものであるとは私共は誰も考へては居りません。けれども小學校へ上る前の準備として幼稚園によこす父兄は誠に多い様に思はれます。

東京市外の多くの幼稚園これは地方の幼稚園と同じ事でありませうが、幼稚園で二年間保育を受けるために五歳六歳の幼児を入園させる数よりも一年間の保育を受ける六歳七歳の幼児の数が前者の數倍にのほるのであります。つまり大抵の幼稚園には一組の年少組に對して二組三組の年長組があるわけでありませう。この傾向は私共としてはなるべくさけて年少年長ともに同數位であつてほしいと思ふところでありますがまだ一般の要求するところがそれに達しない事は甚だ遺憾なきところであります。

然し幼稚園の在園二ケ年間毎日／＼一緒に遊んでゐる幼児がごくにその身心の兩方面に著しくのびるのは年長組の二學期において一段と顯著にあらはれる様に感ぜられるのであります。勿論年少組の一年間のかくれたる力の上へのびてゆくのであります。

身體的方面からみても幼児の毎日の出席の様子が在籍三〇人に對して二十五人を越えて出席するのはごく稀で大抵の日は二〇人前後が普通で、少いときには一〇人あまりいふなさない状態なる事もしばしばあります。これにひきかへて年長組の幼児は在籍三〇人に對して多

き日は全出席といふすばらしい有様となり普通の日で二七、八人位で極めてお休みの多い日でも二〇人を下る事はほさんきない様であります。これは幼稚園の生活にもなれたのでもありませうが健康状態が大層良好であるといふ證據も考へられるのであります。

精神的方面から考へて見てもごく大ざつぱにいつて見ても何さなく何をさせても手ごたへがあるといふ感が著しいのであります。一つの繪本を一緒に見てゐてもその繪を見ながらいろいろの事を追求する。又幼児自身の見聞なごもその中に入れて私共にもきかせてくれる時もある。又繪をかくにも今まではいつも同じものをいく度もくりかへしくしてかいてゐた人もお友達の上手な繪を見て觀賞しながらその頃には自分で真似て自分も書いて見たり、又動物なき畫いてゐる時なきもわからない箇所は本立の中から何か参考になるキングダーブックやその他の繪本を引き出して畫きこいふ様になり大いに馬の題材を考へた内容を充實させやうとつこめる。お話なきでも一つのお話で満足せず一時に二つも三つものお話をつゞけ様なきゝたがるし、又お話種類なきについても夢のやうなたは

いのないお話ではあきたりないで歴史的のやうなものを喜ぶといふ様になる。尙これだけでなくすべての事柄について觀察の力なきも強く盛に動くので精神的活動が著しく進むのであります。その好機を見のがす事なく小學校の入學準備といふ事ミ別問題でこの慾求を満足させる様に保育室の中に出來るだけ幼児の種々の觀察すべき材料をさりかへて備つつけたいものであります。時には簡單に説明してやるのもよい事でありませう。新聞やグラフの寫眞のきりぬきをはりつけたり、又出來れば動物園なきにつれ出して水鳥の泳いでる様子やお猿のいろいろの種類を見るのも面白くて喜ぶことでありませう。

この幼児が數についてきの位の觀念があるか、片假名はきの位知つてゐるかについても一人一人の幼児についてその受持の保姆ミしても一通りは知つておきたいものであります。こうして數の觀念や文字やその他の觀察方面についてしらべて見てあまりに他の幼児に較べて發達のにぶいミ考へられる幼児にはその他のものよりも一段ミ法意して幾分でもその缺點を補つて小學校へ送りさゞけたいものであります。